

第 42 期（2023 年 3 月期）

決 算 公 告

（ 2022 年 4 月 1 日から
2023 年 3 月 31 日まで ）

東京都港区港南二丁目 5 番 7 号

スターゼン I T ソリューションズ株式会社

貸借対照表

2023年 3月 31日現在

スターゼンITソリューションズ株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	435,745	流動負債	720,369
現金預金	383	短期借入金	208,684
売掛金	229,417	1年内返済予定の長期借入金	111,640
原材料及び貯蔵品	8,909	リース債務	23,250
仕掛品	6,649	未払金	300,192
未収入金	3,460	未払費用	4,370
前払費用	186,924	未払法人税等	23,852
		未払消費税等	16,854
固定資産	825,379	預り金	1,144
有形固定資産	80,651	賞与引当金	30,380
建物	6,816		
工具器具備品	35,951	固定負債	289,124
リース資産	37,882	長期借入金	79,040
		リース債務	18,197
無形固定資産	694,995	長期未払金	191,886
電話加入権	1,174		
ソフトウェア	628,745	負債合計	1,009,493
ソフトウェア仮勘定	65,075	(純資産の部)	
投資その他の資産	49,732	株主資本	251,631
長期前払費用	33,196	資本金	10,000
繰延税金資産	16,535		
その他の投資	563	資本剰余金	73,115
貸倒引当金	△563	その他資本剰余金	73,115
		利益剰余金	168,515
		利益準備金	2,500
		その他利益剰余金	166,015
		繰越利益剰余金	166,015
		純資産合計	251,631
資産合計	1,261,125	負債及び純資産合計	1,261,125

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

①商品及び製品

……個別法および総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

②仕掛品

……個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

③原材料及び貯蔵品

……先入先出法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、自社利用ソフトウェアについては、自社における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(4) 長期前払費用

定額法

3. 引当金の計上基準

①貸倒引当金

売掛債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

Ⅱ．株主資本等変動計算書に関する注記

1．当該事業年度末発行済株式の種類に関する事項

普通株式 200 株

2．配当に関する事項

（1）配当金支払額

該当事項はありません。

（2）基準日が当事業会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期になるもの

該当事項はありません。

Ⅲ．その他の注記

該当事項はありません。

Ⅳ．当期純損益金額

当期純利益 51,456 千円

~~~~~

(注)この計算書類中の記載金額は、表示単位未満を切捨てて表示しております。